

町内会を深掘り!

菊水地区

菊水北第6町内会

菊水北第6町内会

会長 小笠原 征治さんにお話をうかがいました!



町内会の概要・地域の特徴

町内会加入世帯は549世帯で、学校や保育園、菊水地区会館が近く、子育て世帯も暮らしやすい環境です。米里通に面し、地下鉄菊水駅も比較的近いため転入者が多く、特に单身向けのワンルームマンションが増えています。町内会の目標は「住民が安心安全、みんな仲良く住み良い町内会にしよう」というものです。この理念を軸に、さまざまな活動を続けています。

子ども向けの活動についても教えてください

町内の児童は50名ほどですが、子どもたちが地域に親しめるよう、アンモナイト彫り体験や飾りつけ作りなどを公園で開催しています。また、北連町全体で子どもみこしや盆踊りも行っており、地域の行事として大切にしています。

福祉活動に力を入れていると伺いました

福祉の推進には長年取り組んでいます。菊水地区福まちの委員長が町内会に所属していることもあり、助言を受けながら平成30年から『向こう三軒両隣運動』を継続しています。毎年計画書を作成し、見守り活動に力を入れています。単身の70歳以上の高齢者や、65歳以上で見守りが必要な方を対象に、月1回の訪問や電話での安否確認を行っています。現在、災害時要支援者名簿の方に加え、合計約35名方を見守っています。サポート体制は30名で、そのうち12名が役員、班長10名、サポート班8名です。これまで5件程の見守り事例があり、施設入所や病院に入院された方はいましたが、幸い命を落とした方はいません。活動の意義を強く感じています。



アンモナイト彫り体験

防災面での取り組みについても教えてください

令和2年から町内会として食品や飲料水の備蓄を少しずつ進めています。また、住民にも「災害時に必要な物を自助で用意してほしい」と毎年周知しています。さらに、災害時要支援者名簿の取得にも積極的に取り組み、北連町の中では最も早く参加しました。ブロックごとに連絡網を整備し、7つのブロックにブロック長を配置して、災害時に迅速に動ける体制を整えています。

今後の町内会の展望をお聞かせください

これからも「向こう三軒両隣運動」を継続し、住民同士が支え合える地域づくりを進めていきたいと考えています。また、福まちやネットワーク会議などの地域活動にも積極的に参加し、安心して、仲良く暮らせる町内会を守り育てていきたいと思っています。



役員会の様子